

# 週間市場レポート (2020年4月20日~4月24日)

## 1) 先週の市場動向

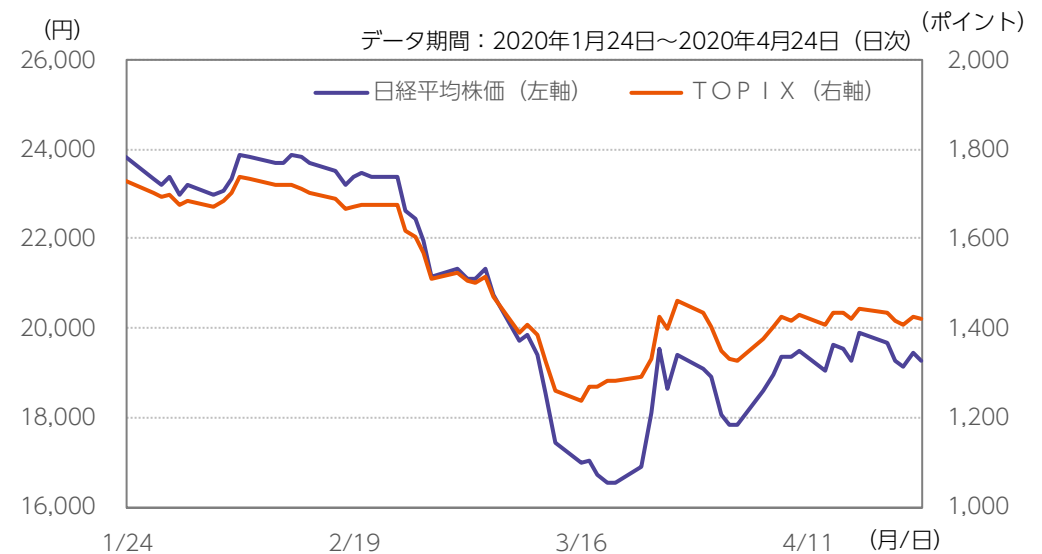
指数名	国	前週末 2020/4/17	先週末 2020/4/24	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		19,897.26	19,262.00	▲ 3.19 ↓
TOPIX (東証株価指数)		1,442.54	1,421.29	▲ 1.47 ↓
ダウ工業株30種平均 (ドル)		24,242.49	23,775.27	▲ 1.93 ↓
S & P500種指数		2,874.56	2,836.74	▲ 1.32 ↓
ユーロ・ストックス50指数		2,888.30	2,809.07	▲ 2.74 ↓
S & P/ASX300指数		5,444.85	5,203.26	▲ 4.44 ↓
上海総合指数		2,838.49	2,808.53	▲ 1.06 ↓
MSCI AC アジア (除く日本)※		748.42	732.17	▲ 2.17 ↓
東証REIT指数		1,576.15	1,551.04	▲ 1.59 ↓
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		642.83	613.89	▲ 4.50 ↓
ASX300 REIT 指数		1,164.30	1,076.50	▲ 7.54 ↓
グローバルREIT (除く日本)※		151.40	144.06	▲ 4.85 ↓
日本10年国債 (%)		0.03	▲ 0.02	▲ 0.04 ↓
米国10年国債 (%)		0.64	0.60	▲ 0.04 ↓
ドイツ10年国債 (%)		▲ 0.47	▲ 0.47	▲ 0.00 ↓
英国10年国債 (%)		0.30	0.29	▲ 0.01 ↓
ドル/円		107.54	107.51	▲ 0.03 ↓
ユーロ/円		116.95	116.40	▲ 0.47 ↓
英ポンド/円		134.40	132.98	▲ 1.05 ↓
豪ドル/円		68.45	68.71	0.38 ↑
フィラデルフィア半導体指数		1,705.64	1,702.56	▲ 0.18 ↓
WTI原油先物 (ドル)		18.27	16.94	▲ 7.28 ↓
CRB 指数		123.80	112.75	▲ 8.92 ↓
アレリアンMLP指数		598.56	657.71	9.88 ↑

## 2) 日本の株式・債券市場

### ≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で下落しました。

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により原油需要が減少し、貯蔵能力が限界に達するとの思惑などを背景に原油価格が急落するなど、改めて世界的に経済活動が低迷するとの懸念が強まったことから、週を通じて下落基調となりました。



≪ 債券 ≫

日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で低下となりました。原油価格の急落を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことを背景に、相対的に安全とされる債券は買いが優勢となり(利回りは低下)、週末は、およそ2週間ぶりにマイナス圏となりました。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

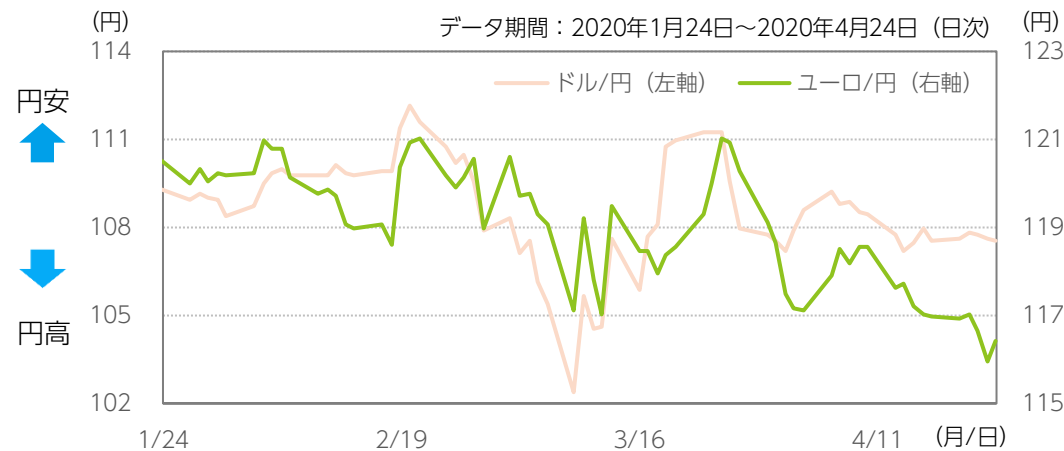
米国株式市場（NYダウ）は前週末比で下落しました。貯蔵能力が限界に達するとの思惑などを受けた原油価格の大幅下落により、エネルギー関連株式を中心に軟調な展開となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比でほぼ横ばいとなりました。米国における経済の早期再開期待を受けた米ドル買いと、原油相場の下落による円買いがきつ抗し、週間では前週末比でほぼ横ばいとなりました。



5) 今週の見通しについて

米国において経済活動早期再開の期待が高まっているものの、需要の急減により貯蔵能力が限界に達するとの思惑などから、原油価格が異例のマイナス価格をつけたことなどを受け、先週の株式市場は、日米両市場ともに前週末比で下落となりました。

今週は、日米欧の金融政策決定会合が開かれます。27日(月)に日銀が実施した追加の金融緩和策（社債等の買い入れ額の増額、新型コロナ対応金融支援特別オペの拡充等）を好感し、日本の株式市場は前週末比で上昇しました。今後は米欧の金融政策決定会合、国内においては緊急事態宣言が延長されるか否かが注目されそうです。

今週の株式市場は、引き続き国内および世界における新型コロナウイルス感染者数の動向と、経済活動の再開に向けた各国の対応やその効果などを見極めながら、方向感を探る展開になりそうです。

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;

**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120 - 762 - 506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>